

令和2年3月吉日

保護者の皆様

弥富市立大藤小学校長 富田 昌弘

令和元年度 学校評価の結果について

春陽の候、保護者の皆様にはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。日頃は、本校の教育活動にご理解・ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、このたびの学校評価アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。その集計と分析を、下記のようにお知らせいたします。家庭・地域と連携を密にし、より信頼される大藤小学校を目指して努力していきたくと思います。今後ともさらなるご理解、ご協力をいただきますよう、よろしく願いいたします。

記

1 選択回答アンケート

多くの項目で「そう思う」「だいたい思う」の回答が80%程度以上ありました。しかし、中には50%に届かない項目もあります。今回の結果を真摯に受け止め、よりよい大藤小学校を目指して努力し、改善していきます。

【環境・安全について】

清掃や身の回りの整理整頓についての指導、災害や不審者などの問題発生時の対応については比較的高い評価をいただきました。しかし、登下校や学校の環境については「あまり思わない」「思わない」という意見が3割程度あるという状況でした。

登下校については、毎日多くの保護者や地域の方々に見守っていただき、本当にありがとうございます。交通安全のマナーや複数での登下校、通学班における友人関係などの指導を今後も丁寧に行っていきたいと考えています。
学校環境の安全確保について、今より一層注意を払い、改善していきます。

【生活について】

「明るくあいさつができる」「相手の気持ちを考えた言葉遣いや行動ができる」の項目では、32～35%が「あまり思わない」「思わない」という意見をいただきました。「学校が楽しいと言っている」「望ましい食習慣の指導をしている」「問題があったとき、子どもたちの話をよく聞いている、家庭に連絡をしている」については、比較的好い評価をいただきました。

あいさつは、年度当初から子どもたちに呼びかけています。子どもたちの意識は比較的高いので、今後もより一層声かけをしていきたいと思っております。また、相手の気持ちを考えた言葉遣いや行動をすることについても、普段の学校生活や道徳等の授業を通して指導していきたくと考えています。ご家庭との連携を密にして、信頼関係がより一層深まっていくよう、子どもたちの心に寄り添った指導を心がけていきます。

【学習・行事について】

「子どもは本をよく読んでいる」の回答では、「あまり思わない」「思わない」という意見が6割弱ありました。また、「わかりやすい授業をしている」という回答には、94%のよい評価をいただきましたが、「基礎基本となる学習を身につけている」「話す人の顔を見て話を聞く姿勢ができて」「自分の思いを言葉で伝える力がついている」については、「思う」「だいたい思う」の割合が8割弱という結果となりました。

朝読書の活動や、読書の楽しさを高める指導を続けていながら、読書習慣が身につく活動を今後より一層進めていきたいと考えています。来年度から始まる新学習指導要領に合わせ、基礎基本の学力を確実に身につける指導を行うとともに、自分の思いや考えを伝える力、また友達の意見に耳を傾ける姿勢の育成を進めていきます。

【家庭・地域との連携、その他】

多くの項目で8割を超えるよい評価をいただきました。その中で、「心のアンケートがいじめ対策に効果がある」については、約3割が「あまり思わない」「思わない」という回答でした。

子どもたち・保護者との信頼関係をより一層高めていけるように、今後も子どもたちや保護者の方の声を真摯な気持ちで受け止めていくよう心がけていきます。心のアンケートに正直な気持ちが書けると答えた子どもたちは多いものの、うまく伝えられない子どももいます。そのような子たちの表情や仕草をよく看取り、安心できるような工夫をしていきたいと思えます。

2 記述アンケート

【学校行事について】

学校行事の見直し、精選について貴重なご意見をいただきました。子どもたちが喜び、感動し、心に残るような行事はできる限り大切にしていきたいと思えます。その一方で、4月から始まる新学習指導要領では外国語の授業時間が増加し、学ぶべき学習内容がより密になります。それとともに、基礎基本の学力を確実に身につけるための授業時間数の確保が求められています。保護者・地域・教職員で共通理解を図りながら、学力の向上・定着に欠かせない授業時間の確保と、心に残る行事の工夫を進めていきたいと考えています。

運動会の5月開催、半日日程については賛否両論のご意見をいただきました。来年度初めての取組です。気がつかれたこと、改善すべき点など、ご意見をいただきたく思えます。

【通学路・登下校時の安全について】

通学団での登下校におけるトラブル、また通学路の危険箇所についてのご指摘をいただきました。子どもたちへの交通ルール・マナーの指導を心がけるとともに、今後も見守っていただける保護者や地域の方々と連携を図り、危険箇所の解消などを進めていきたいと考えています。

さまざまなご意見・ご指摘をありがとうございました。また、温かいお言葉も多数いただきました。今後もお気づきのことがありましたら、ぜひお声をお聞かせください。